

CIR Insights 17



[東北大学生・教職員のための教育データレポート]

2023年秋号 学修成果調査にみる学生の4類型

教育評価分析センターでは2014年度より隔年で、卒業・修了時の学生を対象とした「学修成果調査」を、学務審議会と協力しながら実施しています。今回のInsightsでは、2022年度末の第6回調査における新規設問のうち2つ(Q1, Q2)に注目し、回答の組み合わせで4つの学生類型を考えてみました。学士課程と修士課程を比べると、学士課程では「希望して入学したものの学生生活を有意義と感じられなかった学生(暗転群)」の割合が多いことが目を惹きます。自由記述からはコロナ禍の影響が窺われ、対面授業や課外活動における人間関係の構築が、学士課程では特に重要であることがわかります。

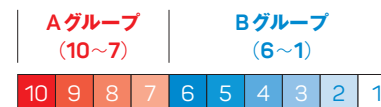
CIRとは？

教育評価分析センターのこと。東北大学における教育・学習活動の体系的なデータ収集・分析を行い、大学の教育マネジメントを支援する組織です。

東北大学
高度教養教育・学生支援機構
教育評価分析センター

〒980-8576 仙台市青葉区川内41
Tel: 022-795-4931
Fax: 022-795-4749
E-mail: cir@ihe.tohoku.ac.jp
http://www.cir.ihe.tohoku.ac.jp

図は「第6回学修成果調査」の結果のうち、
Q1 東北大学への入学は希望に沿っていた
→「東北大学入学の希望度」
Q2 学生生活は有意義だった
→「学生生活の有意義度」
への評価の関係を学士課程・修士課程ごとに比較したものです。10段階評価の10~7および6~1の組み合わせで、右の4群に学生を分けています。



凡例

学生類型	Q1への評価	Q2への評価
■ 堅調群	A (10~7)	A (10~7)
■ 暗転群	A (10~7)	B (6~1)
■ 好転群	B (6~1)	A (10~7)
■ 低迷群	B (6~1)	B (6~1)

☞ :各群における自由記述からの抜粋

課程別で見る「東北大学入学の希望度」と「学生生活の有意義度」の関係

堅調群

勉強環境が整っており、先生方にも授業時間に関係なく熱心に指導していただいた。研究者として生きていく道筋が分かった。

暗転群

コロナ禍で通学する機会が少なく対面での授業がほぼなかったため、あまり学習意欲が出なかった。友人と過ごす時間も少なく、満足できるほど学生生活を楽しめなかった。

好転群

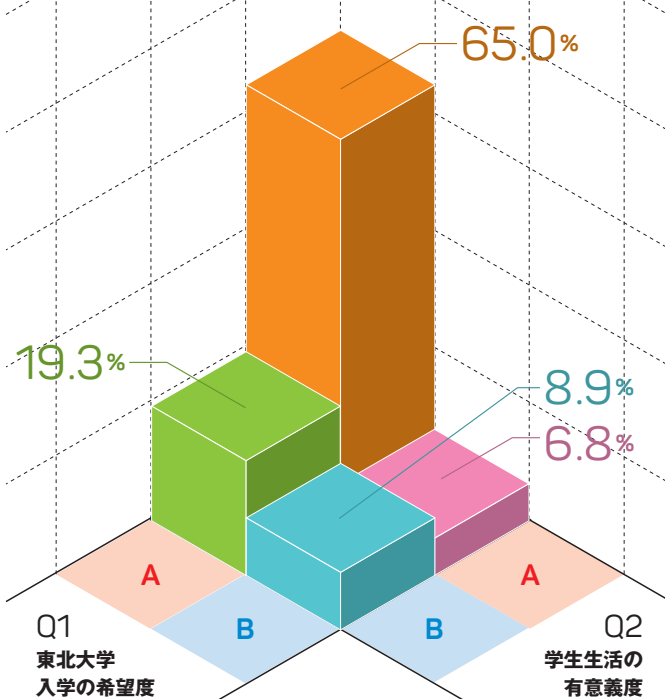
求めれば与えてくれる教員が多く、留学制度が非常に充実している。

低迷群

自由度の高いカリキュラムを活かしきれず、専門性を高められなかった。オンライン講義の期間は希薄な大学生活だったと感じる。

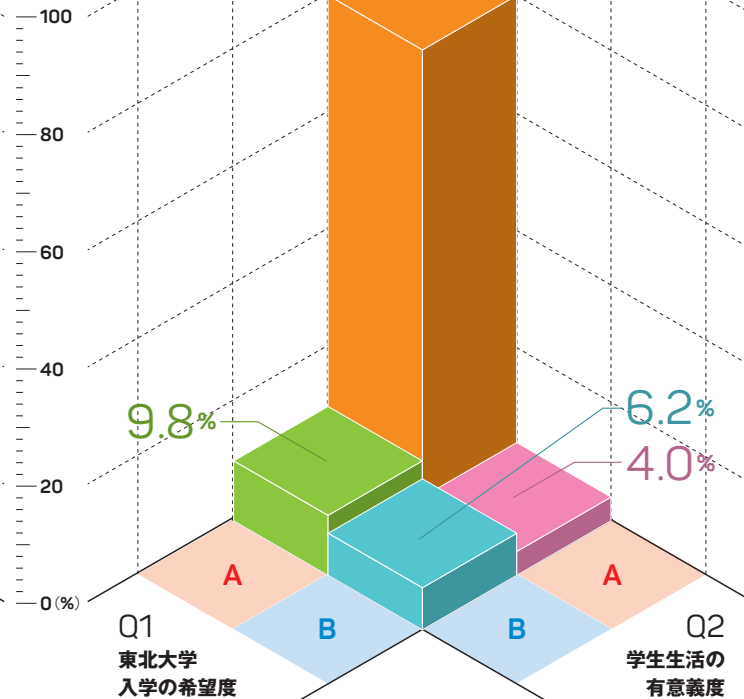
学士課程

(n=939)



修士課程

(n=746)



Tohoku University attaches great importance to students' study and life, and has provided great help to international students like me.

堅調群

教授次第ではあるが、有職者に対する配慮の無さなど、サポート体制に疑問符が付く。

暗転群

自分の成長に必要なと思う環境が整えられていて困ることがなかった。必要な設備も十分に備わっていると感じる。

好転群

高齢の社会人入学だったが、殆どどの期間コロナ感染対策による制約があり、年齢差を埋めるだけの交流ができなかった。

低迷群